

【概要】

北区集談会において、北区地域の将来を見据え、20年後、30年後の地域を支える担い手の育成を図るため、2月5日（木）、地域企業関係者と植木地域にある8つの小学校の関係者による意見交換会を開催し、その中で、子どもたちが地域に関心を持ち、主体的に関わるための取組について対話を行った。当日は、各小学校の校長及びPTA会長等の学校関係者18名、並びに24社・28名の企業関係者が参加した。

地域資源や企業の特性を生かした学習機会の創出に加え、学校教育への具体的な関わり方や連携の進め方などについて意見が交わされ、学びや体験の充実につながる多様な意見やアイデアが提案された。

【関係団体】

- 小学校関係者
（校長、PTA会長等）
- 植木地域の企業 24社



【連携後の効果、今後の展開など】

地域と学校が連携することにより、教育活動の幅が拡大し、子どもたちの主体性や地域理解の向上が期待される。

今後も、学校及び地域企業等の関係者と連携を図りながら、地域に根ざした取組を継続的に推進していくための意見交換の場を設けることとする。